

前言

我們經常聽到學生們說，「即使學了初級的文法基本知識，在日常生活中仍然很難將自己想說的話表達出來」、「無法實際感受到自己的日語真的有進步」、「文法好生硬好難」…等等。似乎也有很多日語學習者感受不到自己的日語能力真正有所提升，而對於中級日語感到困難重重。要能夠用日文溝通，除了需要學習相關的文法知識之外，一邊留意該如何將所學的文法用在實際生活的各種情境中，一邊學習文法的基本意義、使用方式及功能等也是相當重要的。

於是，為了讓學習者能夠快樂的學習，並能夠真正學會實際使用所學過的文法，我們開發了這本實用的文法教科書。這本教科書的目的在於讓學習者正確的理解文法之餘，也能夠將所學靈活運用在實際日常生活的各種情境之中。因此，除了文法的基本用法及表達的意思之外，對於類似的句型用法及區分使用、進行溝通時所扮演的角色等都做了詳細的說明，並舉出許多例句。例句部分則盡量設定生活中常見的場景，並出示常看到的或常聽到的用法，讓學習者能夠很快的應用在日常生活當中。

此外，為了確認是否了解所學的文法，本教科書設定了各式各樣的練習題，透過這些練習題，不但能夠確認所學的文法知識，同時也能夠訓練說・讀・寫的能力，達到提高運用能力的效果。對於正在準備日語能力測驗的學生來說，透過練習 1 及練習 2，可以自我確認是否確切的理解所學習的文法，同時也能夠增加詞彙量。

在這本教科書問世之前，我們在課堂上使用自己所準備的教材，一路上不斷參考學生們的問題及要求來進行修改，歷經了四年的歲月終於如願將這些資料集結成書出版了。有許多用這本教科書來學習日文的學生告訴我們：「文法實在太有趣了」「我越來越喜歡文法了」「我知道該怎麼表達了」等等。而且有越來越多的學生知道該怎麼用專有名詞來解釋錯誤的地方及說明，用日文表達時也變得更在意用法的正確性了。我們深深感受到注重溝通能力並同時提升說・讀・寫能力的語法教育的重要性。

在此對於實際使用本教科書並提供我們寶貴意見的老師及同學們致上最深的感謝之意。在課堂上藉由思考學生們的疑問，讓我們不斷思考在語法教育上真正需要的內容，因此每堂課對我們來說都是彌足珍貴的時光。因為有這些老師及同學們的寶貴意見，我們才能夠開發出這本滿足大家需求的文法教科書。

本教科書的呈現，仰賴編輯市川麻里子小姐及原田麻美小姐無微不至的編輯指引與協助。由於這本教科書收錄了學習者及教師所認為必要的內容，因此學習項目的數量非常多。市川麻里子小姐及原田麻美小姐不僅詳細查看學習項目及內容，並針對教科書的整體結構及每一課的版面設計給予建議，對於文法說明及練習問題、解說的內容也不斷提供我們許多寶貴的意見，讓我們再次深深感受到中級文法的奧妙，這樣的機會十分難得也深具意義。謹在此致上最深的感謝之意。

我們誠摯期盼這本教科書能夠為提升溝通能力的中級語法教育，提供一些思考的契機及方向。

2013 年秋天 許明子・宮崎恵子

- ◎前 言 i
- ◎致使用本教科書の學習者 iv
本教科書で勉強するみなさまへ vi
ほんきよう か しょ べんきよう
- ◎致使用本教科書の教師 viii
この教科書をお使いになる先生方へ x

1	指示詞	2
2	助詞	12
3	複合助詞	22
4	の・こと・もの	32
5	原因・理由	40
6	目的・可能・願望	50
7	いく・くる	60
8	する・なる	70
9	テ形和否定形	80
10	名詞修飾	88
11	並列	98
12	時態相關句型	108

13	授受動詞句型	118
14	尊敬語・謙讓語	128
15	尊敬用法・謙讓用法・禮貌用法	138
16	否定相關句型	148
17	假定條件句型	158
18	複合動詞	170
19	自動詞和他動詞	180
20	結果・狀態	192
21	被動	202
22	使役・使役被動	210
23	推測・傳聞	220
24	判斷・義務	234

◎文法用語解說 p.244

◎索引 p.251

◎依出現單元排序 p.257

◎標準解答 p.261

◎凡例

致使用本教科書的學習者

●本書的特色

即使是在初級曾經學過的、或是自己認為已經理解的文法，但實際上仍有許多不知道該如何使用，或是無法正確使用的例子。如果要從初級到中級、中級到高級循序漸進的學習日文，正確精準的文法、豐富的詞彙與表達方式是缺一不可的。

本教科書的目的在於讓同學們能夠在複習初級階段所學習的基本內容的同時，能夠進一步提升程度，在實際生活中正確的運用所學。

第 1 課到第 10 課在「**首先確認**」說明初級階段曾經學習的基本內容，接著在「**提升程度**」針對使用方法及類似句型等進行說明。

第 11 課到第 24 課在「**確認**」說明這課的文法知識，接著在「**進一步提升程度**」針對類似句型及使用上的區別、用法等進行更詳細的說明。

為了讓同學們不只是將本教科書的文法當作知識來學習理解，更希望可以在實際生活中運用自如，因此我們在書中舉出了許多能夠使用在實際日常生活情境中的句型詞彙及例句。希望各位能夠在學習的同時，思考在日本的生活中該如何使用。

●本書的內容及架構

本教科書由 24 課所構成，前半的第 1 課至第 10 課是以形態變化較少的文法為中心，後半的第 11 課至第 24 課的主要內容則為形態變化較多的動詞相關文法。以下為各單元的架構。

以下針對各部分的目的及內容進行說明。

活 動	目 的	內 容
開始・對話	回顧自己所掌握的文法知識	看圖思考在圖示的情況下能夠使用什麼來表達，並設計對話
↓		
這一課的句型詞彙	讓學習者意識到各單元所提出的句型詞彙	確認各課的學習內容
↓		
首先確認 [第 1 課～第 10 課]	確認在初級階段曾經學習的基本用法	確認學習內容在初級階段的基本含意及使用方式
確認 [第 11 課～第 24 課]	理解在中級階段所必須學習的含意及使用方式	確認中級階段所必須學習的文法知識，含意及使用方式
↓		
練習 1	確認基本含意及詞尾變化	二選一問題，練習動詞的詞尾變化及句型基本的使用區分
↓		

提升程度 [第 1 課～第 10 課]	理解中級階段所必須學習的文法、使用方法、使用區分的重點	整理各句型的用法及相關的文法知識，並確認容易和學習內容一起使用的句型詞彙，以及與類似句型之間的使用區分
進一步提升程度 [第 11 課～第 24 課]	理解從中級階段到高級階段所需的文法知識	確認各項目更詳細的用法、文法特徵、使用上的限制、與類似句型之間的使用區分
↓		
練習 2	確認例如使用上的區分等等的文法理解是否正確	四選一問題，用來確認使用上的區分、詞彙的確認、與類似句型的不同、溝通上的問題等
↓		
造句	確認不同情境的文法運用能力、提升表達能力及正確性	透過造句及完成句子等練習方式，來達到確實掌握使用方式的目的
↓		
改錯	讓學習者意識到所學的文法	讓學習者意識到容易發生的誤用，並確認正確的使用方式
↓		
找到例句了！	提升並維持學習動機	觀察在文章(真實教材)中學習內容的實際使用方式
↓		
結束・對話	本單元的歸納整理	將「開始・對話」中的內容以短篇故事的形式來進行朗讀。透過發出聲音朗讀或背誦的方式來複習本單元的內容

※第 2 課包含練習 1～6、第 18 課包含練習 1～3、第 19 課包含練習 1～4

●學習的進行方式

首先，將各課的「**首先確認**」「**確認**」中出現的文法說明，配合例句一起閱讀之後，在「**練習 1**」做確認的工作。接著，理解「**提升程度**」「**進一步提升程度**」中的類似句型及使用上的區分、使用方式之後，請在「**練習 2**」「**造句**」「**改錯**」「**找到例句了！**」中進行確認。做完練習題之後，請參閱解答對答案，如果有不懂的地方，請再次閱讀教科書說明的部分並加以確認。在「**造句**」的地方請依據課本所提示的詞彙來想像前後句或情境，寫出適當的句子，並試著將自己寫的句子對照附錄解答本中的參考例句。接著請確認文章中詞彙的意思來閱讀「**找到例句了！**」，並觀察文章中出現的學習內容及其使用方式。最後，請發出聲音來朗讀或背誦「**結束・對話**」。

●關於注音假名… 針對讀法難度較高的詞彙(舊制日語能力測驗 2 級以上的漢字)標注了假名。在中級階段遇到沒學過的詞彙機率大增，勤查字典對於增加詞彙量是很有幫助的學習方式。

●關於文法用語解說… 關於基本文法用語的部分，已在教科書裡附上解說。請依循書中出現的「→p.000」標示來進行查閱。

●關於凡例… 詞尾變化以「凡例」的方式顯示。請依循出現在書中的「→凡例」參閱封面底頁的凡例。

本教科書で勉強するみなさまへ

ほんきょう か しよ べんきょう

●本書の特徴

ほんしよ とくちよう

初級レベルで勉強したことがある、知っていると思う文法項目でも、実際には使えなかったり、正確な使い分けができなかったりするケースが多いと思います。初級から中級へ、中級から上級へと日本語の勉強を続けていくためには、文法の正確さ、語彙や表現の豊かさが重要です。

この教科書は、初級レベルで勉強した基本的な内容について復習しながら、さらにレベルアップし、実際の生活で正しく使えるようになることを目指しています。

第1課から第10課では、「**首先確認**」で初級で学習した基本的な意味を説明し、「**提升程度**」で使い方や類似表現などについて説明しました。

第11課から第24課では、「**確認**」でその課の文法的な知識を説明し、「**進一歩提升程度**」で類似表現や使い分け、用法などについてさらに丁寧に説明しました。

本教科書は文法項目について知識として知っているだけでなく、実際の生活で使える力を身につけるために、実際の日常の場面で使える表現や例文をたくさん取り上げました。各文法項目が日本の生活の中でどのように使われているかを考えながら勉強してください。

●本書の内容と構成

ほんしよ ないよう こうせい

この教科書は24課で構成されていますが、前半の第1課から第10課では形の変化が少ない文法項目を中心に、後半の第11課から第24課では形の変化が多い動詞に関連する文法項目を取り上げました。各課は次のように構成されています。

以下に各セクションのねらいと内容を説明します。

活動	ねらい	内容
開始・対話	自分が持っている文法知識の振り返り	絵を見て、その絵の状況ではどんな表現が使えるか考え、会話を作ってみる
↓	這一課の句型詞量	各課で確認する項目を確認する
↓	首先確認 [第1課～第10課]	初級レベルで学習した基本的な意味の確認 学習項目についての初級レベルの基本的な意味、使い方を確認する
確認 [第11課～第24課]	中級レベルで必要な意味、使い方の理解	中級レベルで必要な文法知識を確認し、意味や使い方を確認する
↓	練習1	基本的な意味、活用の確認 動詞の活用や表現の基本的な使い分けを練習する二択問題
↓		

提升程度 [第1課～第10課]	中級レベルに必要な文法項目、使 い方、使い分けのポイントの理解	各項目の用法、関連のある文法項目の整理、一緒に使 いやすい表現、類似表現との使い分けについて確認する
進歩提升程度 [第11課～第24課]	中級レベルから上級レベルで必 要な文法項目の理解	各項目のさらに詳しい用法、文法的特徴、使 い方の制限、類似表現との使い分けについて確認する
↓		
練習2	使い分けなどの正確な文法理解の 確認	使い分け、語彙の確認、類似表現との違い、コミュニケー ション上の問題等を確認する四択問題
↓		
造句	場面による文法運用力、産出能力 の向上、正確さの確認	学習項目を使った文作りや文完成の練習を通して、使 い方の定着を図る
↓		
改錯	学習した文法項目の意識化	間違いやすい誤用を意識化し、正しい使い方を確認する
↓		
找到例句了！	学習モチベーションの高揚、維持	実際の文章(生教材)での学習項目の使われ方を見る
↓		
結束・対話	その課のまとめ	「開始・対話」の内容をショート・ストーリーで読む。声 を出して読んだり、暗記したりして、この課の内容を復習す る

※ただし、第2課は練習1～6、第18課は練習1～3、第19課は練習1～4

●学習の進め方

各課の「首先確認」「確認」で取り上げている文法項目の説明を例文とともに読み進め、「練習1」で確認してください。そして、「提升程度」「進歩提升程度」で類似表現や使い分け、用法を理解し、「練習2」「造句」「改錯」「找到例句了！」で確認してください。練習問題を解いたら解答で答えを確認し、分からないところがあれば説明をもう一度読んで確認してください。「造句」は与えられた言葉から文脈や場面を想像し、適切な文を完成してください。解答に一例がありますから自分の書いた文と比べてみてください。「找到例句了！」は言葉の意味を確認しながら読み進めてみてください。「結束・対話」は声を出して読み上げたり、暗記して言ったりしてみてください。

●ルビについて…読み方が難しい語彙(旧日本語能力試験の2級レベル以上の漢字)にはルビをつけました。中級レベルでは知らない言葉に出あうことも多くなると思います。辞書を引きながら、語彙を増やしていく練習に役立つと思います。

●文法用語解説について…基本的な文法用語について、解説を入れました。「→p.000」のマークに従って参照ページをご覧ください。

●凡例について…活用形を「凡例」で示しました。「→凡例」に従ってご覧ください。

致使用本教科書的教師

●本教科書的特色及使用方式參考範例

本教科書的內容包含了可以運用在日常生活情境的文法說明及練習，此外，為達成本教科書目的之一的提高學習者的詞彙相關能力，我們在例句中盡量使用難度較高的詞彙。書中除了在解說上特別留意溝通上容易發生的問題之外，同時也加入了和類似句型在用法上的區分等等專業性的內容。我們盡可能以學習者容易理解的用字遣詞來做說明，所以請老師們建議學生在上課之前，先做好課前準備，自行查好沒學過的詞彙，閱讀文法說明並先寫好練習題。希望老師能讓學生們自主性的學習，在課堂上一起對答案，並一起思考學生們所提出的疑問。

●使用本教科書上課的範例

假設如果是 1 年總共上 30 堂課(上學期 15 堂、下學期 15 堂)的話，上學期可以從第 1 課上到第 12 課，下學期則由第 13 課上到第 24 課，各進行 12 課的內容。第一堂課先說明上課方式、進度及考試時間，大約學期中舉行期中考，最後一堂課舉行期末考。上課時間為每週一堂(90 分鐘)，每次進行 1 課內容。

首先，指導學生來上課之前先做好預習的功課，閱讀該堂課進度內容的「**首先確認**」「**確認**」的文法說明，並寫好練習題(「**練習 1, 2**」「**造句**」「**改錯**」)。課堂的進行方式則以回答學生問題、確認「提高程度」「進一步提高程度」的內容及確認練習題答案為主。預習的方式基本上為閱讀教科書的文法說明、「開始・對話」，並寫好所有的「練習題」。請指導學生一定要確實查好沒學過的詞彙。建議在課堂上盡可能讓學生們積極作答，並試著自己說明答案的理由。

以下為 1 堂課的授課進行方式的範例。(以 1 堂課 90 分鐘為例)

開始・對話 [約 5 分鐘]	一開始上課先來一段 5 分鐘的暖身活動。兩個人一組，思考如圖所示的情境下，會使用哪些用法來表達，編一段簡短的對話。 這樣的暖身活動可以讓學生想像實際的場景，在回顧自己所掌握的日語能力的同時，也能意識到當天的學習內容。
首先確認 確認 [約 10 分鐘]	將說明的重點以詢問學生的方式來做確認。 在這裡仔細清楚的解說這一課文法的基本意思及用法。內容請在下一步「練習 1」中做確認。
練習 1 [約 10 分鐘]	在這裡可以確認詞尾變化及連接方式等的形態部分，以及基本用法的意思。如果對於基本內容能夠充分理解，就不會停留在原地，可以繼續向前進。
提升程度 進一步提升程度 [約 20 分鐘]	先確認內容。在這裡針對詞組的搭配及溝通上該注意的問題、類似句型在使用上的區分等做詳細的說明。到了中級階段，會有許多學生希望能學到較多新的知識，因此藉由詳細解說「提升程度」「進一步提升程度」的內容，可提高學生的學習欲望，強化其接受挑戰的意願。請在接下來的「練習 2」確認內容。

練習 2 [約 10 分鐘]	以四選一的問題為主。除了能夠確認用法及使用上的區別之外，四選一的答題方式對於準備日語能力測驗也是個有效的應試方法。 這個部分故意在選項中設定了學生容易用錯的詞尾變化及使用上的區分問題，有學生會因此而上當，但這些正是希望學生們理解的重點所在，因此老師們可以在這裡多花點時間，讓學生了解為何會答題錯誤，能夠真正理解內容並選擇正確的答案。若能夠在課堂中確認「練習 1」「練習 2」的解答，同時讓學生說明答案的理由，學生們在使用日文表達時，應該會進一步留意文法的正確性。
造句 [約 15 分鐘]	可以確認在本課中所學習的內容是否能夠正確的使用出來。 或許學生們會造出許多不同的句子，或是問很多關於詞彙及適當的表現等問題，在這部分請老師盡可能多花點時間（約 15 ～ 20 分鐘）。而指示學生來上課前先做好預習並完成句型，在課堂上讓學生們發表在家寫好的作業，討論關於前後文及情境的理解、詞彙的選擇、表達方式的多樣化等也是有效的方式。
改錯 [約 10 分鐘]	確認錯誤的地方及錯誤的理由。 這部分是參考學生實際上使用錯誤的例子而完成的。請試著討論錯誤的地方、錯誤的理由及正確的用法。學生們應該能夠理解各文法句型容易混淆及使用錯誤的理由。藉由學生們自行更正錯誤的方式，來達到提醒他們不要再犯相同錯誤的效果。
找到例句了！ [約 5 分鐘]	讓學生們閱讀使用這課文法的文章。我們希望透過這樣的練習活動，讓學生們累積「真的學會了」「能夠看懂內容了」的成功經驗，對於學習抱持明確的目的及熱情。在這裡我們挑選了對學習者有助益的日本國情・文化的相關主題。
結束・對話 [約 5 分鐘]	在每個單元的最後準備了與「開始・對話」相同情境的「結束・對話」，在課程結束前，以大家一起朗讀、背誦、或是分組朗讀等方式，來達到複習的效果。將「結束・對話」與「開始・對話」連結在一起，可以讓學生自然而然的記住在各情境所使用的表達方式而不感到負擔。

●關於本教科書的規格

關於注音假名… 將第 1 課到第 10 課的舊制日語能力測驗 3 級以上的漢字詞彙，及第 11 課到第 24 課的舊制日語能力測驗 2 級以上的漢字詞彙標上了假名。請老師適時指導學生自行查字典以確認各詞彙的意思。在中級階段會有很多機會遇到沒學過的詞彙，藉由查字典來學習的方式，對於增加詞彙量是很有幫助的。

關於文法用語… 在書的最後附有基本文法用語解說。請依循本文中出現的「p.000」標識，視需要參閱解說部分。

關於凡例… 詞尾變化以「凡例」的方式標示。請依循本文中的「凡例」，視需求參閱封面底頁的凡例。

この教科書をお使いになる先生方へ

●この教科書の特徴と使い方の例

この教科書には、日常場面に応用できる文法説明や活動を取り入れました。また、学習者の語彙力の向上も一つの目的であるため、例文などでも難易度の高い語彙を使っています。コミュニケーション上の問題を意識して詳しく説明したり、類似表現の使い分けなどには専門的な内容も含まれています。できるだけ、学習者が自分で読んで理解できるように平易な文章を心がけましたので、学生には授業に来る前に知らない言葉を調べながら、文法説明を読んで練習問題の答えを書いてくるように勧めてください。自律学習を進めつつ、授業では練習問題の答え合わせや学生からの質問について一緒に考える時間を設けていただければと思います。

●この教科書を使った授業の一例

1年間で30回授業(前期15回、後期15回)の場合、前期は第1課から第12課まで、後期は第13課から第24課までのそれぞれ12課分を行います。初回はオリエンテーション、学期の中ほどは中間テスト、最後の日は期末テストを行います。授業は週1回1コマ(90分)で、1課進めます。

授業に来る前に、**その課の「首先確認」「確認」の文法説明を読んで、練習問題(「練習1、2」「造句」「改錯」)の答えを書いて予習してくるよう指導します**。授業では学習者の質問に答えたり、「提升程度」「進歩提升程度」の内容について確認しながら練習問題の答えを確認する活動を中心に行います。予習の仕方は、基本的には教科書の文法説明を読み、「開始・対話」を行い、すべての「練習問題」の問題を解いてくることです。分からない言葉は辞書を引いて調べてくるよう指導します。授業内では学生にどんどん答えを発表してもらって、解答の理由についても説明してもらおうといいでしょう。

以下は、1コマの授業の進め方の例です。(1コマ90分の場合)

開始・対話 [約5分]	授業開始時に5分程度ウォーミングアップとしてやる活動です。ペアになり、絵のような場面ではどのような表現を使うのかを考え、会話を作ります。 実際の場면을想像し、自分の持っている日本語力を振り返りながら、その日の学習項目を意識化させることができます。
首先確認 確認 [約10分]	説明されているポイントを学生に質問する形で確認します。 ここではその課の文法項目の基本的な意味や用法を丁寧に解説しています。その内容を次の「練習1」で確認してください。
練習1 [約10分]	活用や接続などの形態と、基本的な意味の確認ができます。基本的なことが理解できていれば立ち止まらずに進めます。
提升程度 進歩提升程度 [約20分]	内容を確認します。ここでは、コロケーション情報やコミュニケーション上の留意点、類似表現との使い分けなどについて説明しています。中級レベルの学生は新しい情報を習いたいと希望する学生が多いですが、「提升程度」「進歩提升程度」の内容を丁寧に説明することで、学習意欲が上がり、チャレンジする気持ちも強くなります。その内容を次の「練習2」で確認してください。

練習 2 [約 10 分]	四択問題が中心です。用法や使い分けなどの確認ができますが、四択問題なので日本語能力試験等の対策にも有効に使えます。 ここでは、間違いが多い活用や、使い分けを確認する錯乱肢があるため、ひっかかる学習者もありますが、そこが押さえてほしいポイントですので間違った理由が分かるよう、そして正しい答えが選べるように時間をかけることが望ましいです。「練習 1」「練習 2」は教室で解答を確認しながら、学生に解答の理由について説明させると、さらに文法を意識して話せるようになるでしょう。
造句 [約 15 分]	この課で勉強したことが適切に産出できるかを確認します。 学習者からいろいろな内容の文が出たり、語彙や表現の適切さについて質問が出たりするかもしれません。ここはできるだけ時間(15～20分程度)をかけてください。基本的には、学習者に予習として文を完成させてくるよう指示し、授業では学生が作ってきた文を発表させ、文脈の理解、語彙の選択、表現のバリエーションなどについて話し合う時間を設けるのも有効です。
改錯 [約 10 分]	間違いの箇所を確認し、間違いの理由を確認します。 学習者の実際の誤用例を参考にして作成しました。間違っている部分と理由、正しい表現について話し合ってみてください。学生が各文法項目の中で混乱しやすい部分や間違いが起こりやすい理由が分かると思います。学生が間違いを直すことによって同じ間違いをしないよう注意するようになります。
找到例句了！ [約 5 分]	その課の項目が使われている生の文章を読みます。この活動を通して「分かった」「読めた」という成功経験を積み重ね、学習に目的や意欲を持ってもらいたいというねらいがあります。学習者にとって有益だと思われる日本事情や日本文化に関わるトピックを取り上げました。
結束・対話 [約 5 分]	「開始・対話」と同じ場面を各課の最後に「結束・対話」として提示しました。授業が終わる直前にコーラスしたり、暗記したり、ペア・リーディングすることによって復習の効果が期待できます。「結束・対話」を「開始・対話」とシンクロさせることで、学習者の記憶に負担をかけず、この場面ではこの表現を使うということを自然に覚えられるでしょう。

●本書の仕様について

ルビについて… 第1課から第10課は旧日本語能力試験3級レベル以上の漢字語彙に、第11課から第24課には同試験2級レベル以上の漢字語彙にルビをつけました。適宜、辞書を引いて意味を確認するよう指導してください。中級レベルでは知らない言葉に出あうことも多くなりますが、辞書を引きながら、語彙を増やしていく練習に役立つと思います。

文法用語について… 巻末に基本的な文法用語について、解説を入れました。本文中の「→p.000」マークに従い、必要に応じて参照ページをご覧ください。

凡例について… 活用形を「凡例」で示しました。本文中の「→凡例」に従い、必要に応じて、表紙裏の凡例をご覧ください。

實力提升 日語文法

中級

1

...

10

.....

初中級階段

11

...

24

.....

中高級階段

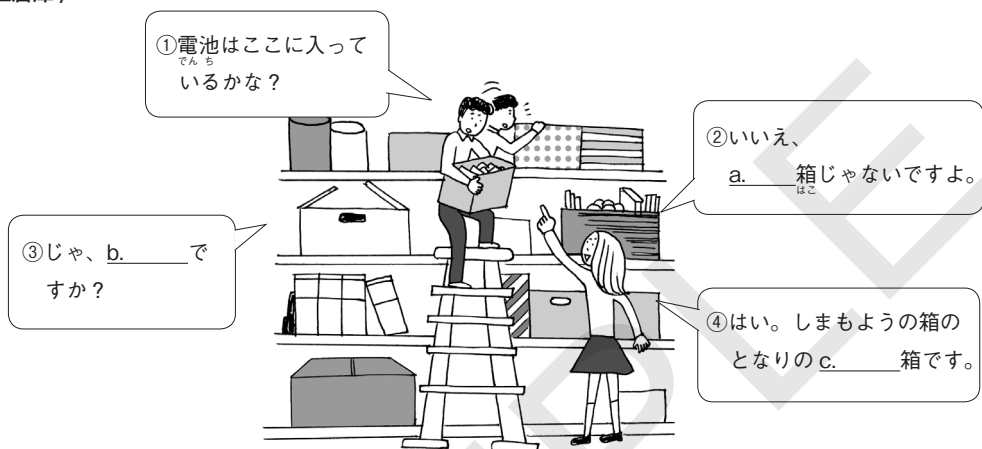
1

指示詞

開始・對話

在以下情境中，兩人之間會出現什麼樣的對話呢？請在_____填入適當的詞彙來完成對話。

〈在倉庫〉



這一課的句型詞彙

指示詞 「コ系」「ソ系」「ア系」「ド系」



首先確認

	指示詞			疑問詞
	コ系 けい	ソ系	ア系	ド系
連體詞	この	その	あの	どの
	こんな	そんな	あんな	どんな
	こういう	そういう	ああいう	どういう
	このような／ こんな	そのような／ そんな	あのような／ あんな	どのような／ どんな
東西	これ	それ	あれ	どれ
地點	ここ	そこ	あそこ	どこ
方向	こちら	そちら	あちら	どちら
	こっち	そっち	あっち	どっち
副詞	このように／ こんなに	そのように／ そんなに	あのように／ あんなに	どのように／ どんなに
	こう	そう	ああ	どう

疑問詞 ➡ (?) p.250

連體詞 ➡ (?) p.245

【何謂指示詞】

說話者對於聆聽者表示現場或是前後文中出現的人・事・物時，所使用的詞彙。

(1) 現場指示

說話者和聆聽者在對話之中，用來指示人、東西、地點所使用的コソアド(「コ系」「ソ系」「ア系」「ド系」)。

① 東西・人

「コ系」= 指靠近說話者的東西・人。

「ソ系」= 指靠近聆聽者的東西・人。

「ア系」= 指其他。



・ A: あのう、その電子辞書、ちょっと見せてもらえませんか。(請問可以讓我看看那台電子辭典嗎?)

B: ああ、これですか。いいですよ。どうぞ。(啊，這台嗎？可以呀！來，請看。)

② 聆聽者的所有物

「ソ系」= 指聆聽者的衣服或配戴在身上的東西等，對方的所有物。

・ 中村: 田中さんはいつもそのネックレスをつけていますね。特別な物ですか。
(中村: 田中小姐妳經常戴著那條項鍊，它是不是有什麼特別的含意呢?)

田中: ああ、これですか。母がくれた物なので大切にしているんです。

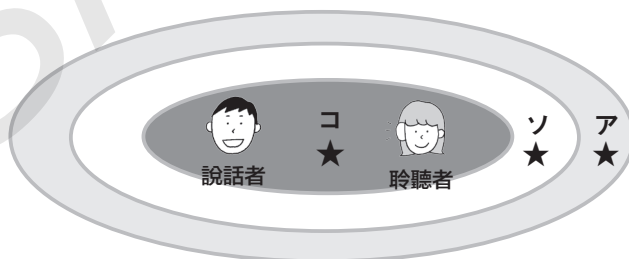
(田中: 啊，這個嗎？這是我媽媽給我的，所以我一直都很珍惜。)

③ 地點(空間)

「コ系」= 指說話者所在的地點，或是說話者與聆聽者在一起的地點。

「ソ系」= 指離說話者和聆聽者不遠不近的中間地帶。

「ア系」= 指離說話者和聆聽者較遠的地點。



・ A: 来週の打ち合わせの場所はここでいいですか。(下週會談的地點約在這裡可以嗎?)

B: ええ、来週もここでやりましょう。(嗯，下週也在這裡吧！)

〈路上〉

・ A: あのう、すみません。郵便局はここから遠いですか。(不好意思請問一下，郵局離這裡遠嗎?)

B: いいえ、遠くないですよ。そこに白い建物があるでしょう。郵便局はその建物の1階です。
(不，不遠喔！那裡有一棟白色的建築物，郵局就在那棟建築的1樓。)

④ 方法・程度

説明方法・作法時＝用「こう／そう／ああ／どう」

表示程度時＝用「こんなに／そんなに／あんなに／どんなに」

・〈書法教室〉

筆はこうやって持ちます。えんぴつ^{ふで}の持ち方でまっすぐ立てます。(毛筆要這樣拿。像拿鉛筆一樣將筆桿立直。)

・ どんなに^{いそが}忙しくても毎日母^{れんらく}に連絡している。(即使再忙，每天都還是會和媽媽連絡。)

(2) 前後文指示

指示對話中出現的人、東西、地點、或是記憶中的人、東西、地點等，會使用「コ系」「ソ系」「ア系」的指示詞來表達。

① 雙方共有的內容

「ア系」＝用在說話者和聆聽者談及雙方都知道的事情，或是共有的資訊。

・ A：今年はどこで花見をしましょうか。(今年我們要在哪裡賞櫻呢？)

B：去年、一緒に行ったあの公園はどうですか。(去年一起去的那個公園如何呢？)

② 非雙方所共有的內容

「コ系」＝用在說話者談及正在考慮的事情或是自己的經驗。

「ソ系」＝用在說話者和聆聽者談及雙方都不知道、或是只有一方知道的事情。

・ この話は、まだ誰にも話していないんですが、実は、来年アメリカに留学したいと思っています。

(這件事我還沒跟任何人提起，其實我考慮明年去美國留學。)

・ 佐藤：オウさん、初詣って、知ってる？(佐藤：王先生，你知道「初詣」嗎？)

オウ：いいえ、知りません。それ、何ですか？(王：不，我不知道。那是什麼意思啊？)

(3) 代名詞

代名詞 → (?) p.245

「ソ系」＝代替曾經在話題或文章中出現過的詞彙。

・ 昨日、筑波山へ遊びに行きました。そこ(筑波山)で、田中さんに会いました。

(昨天去筑波山玩。在那裡(筑波山)遇到了田中先生。)

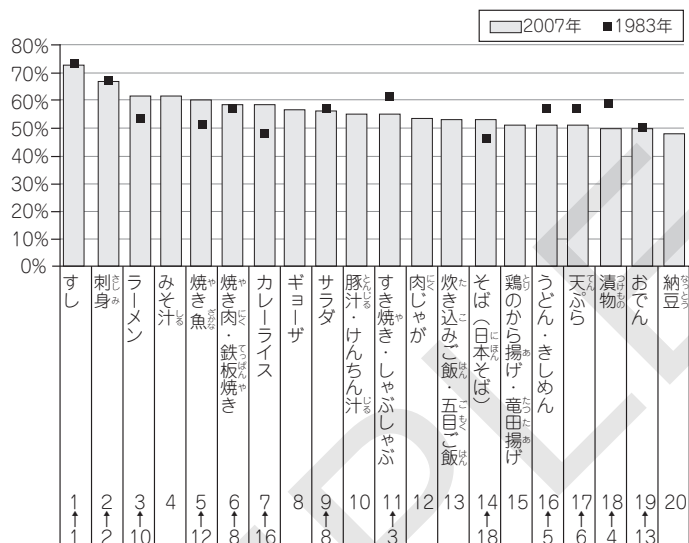
・ 昨日新しいコーヒーマーカ―を買った。それ(新しいコーヒーマーカ―)でコーヒ―を入れて飲んでみた。
とてもおいしかった。(昨天買了新的咖啡機，用它(新的咖啡機)煮了杯咖啡嘗嘗，覺得非常好喝。)

(4) 強調

「コ系」＝ 使用在導入話題或是文章時，為了讓聆聽者將注意力集中在說話者的話題內容時。

- ・ こちらをご覧ください。これは、日本人の好きな料理について、1983 年と 2007 年の調査の結果を比較したものです。好きな料理のトップは「すし」で、日本人の 73% が「好き」と回答しています。

(大家請看這裡。這是 1983 年和 2007 年關於日本人喜愛的料理的調查結果比較。喜愛的料理中「壽司」位居首位，有 73% 的日本人回答「喜歡」。)



社会実情データ図録

NHK 放送文化研究所世論調査部「日本人の好きな物」2008 年、同「放送研究と調査」

練習 1

■ 請從 a. 和 b. 之間選出適當的用法。

1. A: 大学の近くに新しいレストランがオープンしたけど、知ってる？

B: えっ、() どこですか。

- a. それ b. あれ

2. A: すみません、()、日本語でなんて言うんですか？

B: ああ、それね、ホチキスって言うんですよ。

A: そうですか。じゃあ、() はなんて言うんですか？

B: それはね、定規って言うんですよ。

- a. これ b. あれ



3. A: 待ち合わせの場所、どこにしましょうか。

B: 駅前の喫茶店はどうですか。

A: ああ、()なら、近くて便利ですね。

a. そこ b. あそこ

4. A: 木村さんは本当に親切ですね。

B: ええ、ほんと。()やさしい人はあまりいないと思いますよ。

a. そんなに b. あんなに

5. A: タイ焼きって、おいしいですね。

B: えっ、()何ですか。魚ですか。

a. それ b. あれ

6. 〈在筑波山〉

A: ここは眺めがいいですね。

B:ほんと。つくば市内が全部見えますね。

A: あっ、()に富士山が見えますよ。

B: ほんとうですね。筑波山から富士山が見えるなんて知りませんでした。

a. そこ b. あそこ



7. A: ねえ、昨日、図書館で会った()人、紹介してくれない？

B: えっ、田中さんのこと？

A: うん、とても素敵な人だなと思って。

a. その b. あの

8. 妹: もう、お兄ちゃんなんか大嫌い。()行つて。

兄: ごめん、ぼくが悪かったよ。機嫌直して。

a. あっち b. そっち

9. A: あのう、大変なときに、()お願いをするのは申し訳ないんですが。

B: お願いってなんですか。

a. こんな b. そんな

10. 〈路上〉

A: あのう、すみません。地下鉄の駅に行きたいんですが、ここから遠いですか。

B: いいえ、すぐ()ですよ。

a. そこ b. あそこ



(1) 指示詞的形態

① 用來表示複數時

偶爾會用「これら / それら / あれら」，但一般還是用「これ / それ / あれ」。

- ・ これは私の本です。(1冊) (這是我的書。(1本))
わたし いっさつ
- ・ これらは私の本です。(2冊以上) (這些是我的書。(2本以上))
に ぎゅう いじょう
- ・ これはぜんぶ私の本です。(2冊以上) (這全部是我的書。(2本以上))

② 表示禮貌的指示詞

現場指示

人： この人、その人、あの人、どの人
東西：これ、それ、あれ、どれ
地點：ここ、そこ、あそこ、どこ

表示禮貌的指示詞

こちら、そちら、
あちら、どちら
※「どの人」會用「どなた」

〈將朋友介紹給老師〉

- ・ オウ：田中先生、こちらは私の友だちの木村さんです。(王：田中老師，這位是我的朋友，木村小姐。)

木村：はじめまして。オウさんの友だちの木村です。どうぞよろしくお願ひします。

(木村：初次見面，我是王先生的朋友木村。請多多指教。)

田中先生：はじめまして。田中です。どうぞよろしく。(田中老師：初次見面，我是田中。請多多指教。)

(2) 指示詞的用法

① 疑問詞的用法

兩者之中做選擇時用「どちら」，三者以上則用「どれ」。

人：從兩人之中做選擇＝どちら／どっち

從三人以上選擇一人＝どの＋人(方)、誰、どなた
かた だれ

東西：兩者之中做選擇＝どちら／どっち、どちらの／どっちの＋名詞

從三者以上做選擇＝どの＋名詞、何、どれ

- ・ お二人は、どちらが年上ですか。(您們兩位，哪位比較年長呢？)
- ・ 本がたくさんありますが、木村さんの本はどれですか。(有好多書，木村小姐的是哪一本呢？)
- ・ チェック柄としまもようと水玉もようの中で、どの柄が似合いますか。
がら みずたま に あ
(格子・條紋和圓點的花色當中，哪一個比較合適呢？)

② 疑問詞の用法

在對話中要從許多選項擇一時，以「何 → どれ → どちら／どっち」的順序來做選擇。若已經選好兩項，有時會省略「何」「どれ」（→ A2、B2 的對話）。

〈家庭餐廳〉

・ A1：ねえ、何、食べる？（喂，要吃什麼？）

B1：うーん、今日はスパゲッティにしようかな。（嗯，今天吃義大利麵如何呢？）

A2：わあ、いろいろなスパゲッティがあるね。どれにする？（哇，有好多種口味的義大利麵耶！要吃哪種呢？）

今日のおすすめは、ナポリタンと和風スパゲッティだって。

（聽說本日主廚推薦是拿坡里義大利麵和日式義大利麵。）

どっちもおもしろそう。どっちにしようかな。（不管是哪一種看起來都好好吃，選哪個好呢？）

B2：私はナポリタン。（我要拿坡里義大利麵。）

③ 對話中共有的內容

在對話中，當說話者所說的內容成為和聆聽者之間的共有內容時，指示詞有時會從「ソ系」轉變成「ア系」。

・ A：この仕事は木村さんに頼みましょうか。（這份工作就交給木村先生負責吧？）

B：えっ、その人、誰ですか？（咦，那個人是誰呀？）

A：ほら、先月からバイトに来ている背の高い人ですよ。（就是上個月來打工的，個子很高的那位呀！）

B：ああ、分かった…。あの人ですね。あの人なら、やってくれると思います。

（啊，我知道…。是那個人啊？如果是那個人的話，我想他會幫忙的。）

練習 2

■ 請從 a. ～ d. 之中，選出最適合的答案。

1. A：今、持っている（ ）本、ちょっと見せてもらえますか。

B：あ、これですか。どうぞ。

a. その b. この c. これ d. それ

2. A：（ ）、日本語で何て言うんですか？

B：あ、これですか。修正テープって言うんですよ。

a. この b. その c. これ d. それ

3. A：（ ）ピアス、すてきですね。

B：ああ、これ。昨日、買ったんですよ。いいでしょう。

a. これ b. それ c. この d. その

4. A: ねえ、あそこに座っている緑のシャツを着た人、知ってる？
 B: ああ、()人、韓国からの留学生の金さんですよ。
 a. この b. その c. あの d. どの
5. この間、秋葉原に買い物に行きました。しかし、道が分からなくて困っていました。()とき、
 通りがかりの親切な人が道を教えてくれました。本当に助かりました。
 a. この b. その c. あの d. こんな
6. A: この指輪、見て。昨日、彼氏にもらったの。きれいでしょ。
 B: いいなあ。私も()指輪がほしいなあ。
 a. あんな b. そんな c. どんな d. それ
7. A: このゲーム、どうやって遊ぶんですか？
 B: ()やって遊ぶですよ。見てて。
 a. これ b. そう c. こう d. こんな
8. メニューの中から()でも好きな物を1つ選んでください。
 a. どれ b. どちら c. どこ d. それ
9. 昨日、はじめて山下公園へ散歩に行きました。()でぐうぜん田中さんに会いました。
 a. ここ b. そこ c. あそこ d. どこ
10. A: 何を()急いでいるんですか。
 B: もうすぐ授業が始まるんです。早く行かないと遅刻するんで。
 a. こんなに b. そんなに c. あんなに d. どんなに

造句

■ 請使用本課的内容(指示詞)完成下列各句。請在()的①②③中選出適當的指示詞。

1. 去年、友だちと a. _____ を旅行しました。(①ここ・②そこ・③あそこ)では、
 b. _____ 。とても楽しかったです。
2. 私の友だちに a. _____ さんがいます。b. _____ は c. _____
 _____ 。

3. 請依據第5頁圖表所示2007年的調查結果來作答。

日本人の好きな食べ物について調査をしました。a. _____ 結果、好きな食べ物のベスト3は、
b. _____、c. _____、d. _____ ということが分かりました。一方、納豆は20位になってい
ました。やはりすしは日本人が一番好きな食べ物だということが分かりました。

4. 昨日、インド料理のレストランへ行きました。a. _____ で、カレーを食べました。b. _____ あと、
映画館へ行きました。3D映画で話題になった『スペース・ウォーズ』という映画を見ました。友
だちにc. _____ 映画のことを話したら、「ああ、私も見た。d. _____ 映画、おもしろいよね。」と
言っていました。友だちと映画の話をして楽しかったです。

5. 〈電話中〉

A: 今、a. _____ は雨が降っていますが、b. _____ はどうですか。

B: c. _____ は、とてもいいお天気ですよ。

6. 〈路上〉

A: あのう、すみません。ちょっとおたずねしますが、バス停はa. _____ から遠いですか。

B: いいえ、すぐb. _____ ですよ。c. _____ に高いビルが見えるでしょう。

バス停はd. _____ ビルの前にありますよ。

A: どうもありがとうございました。

B: いいえ。



7. 生きるか死ぬか、_____ が問題だ。(To be, or not to be; that is the question.)

(『ハムレット』、シェイクスピア)

改錯

■ 在下面的句子中有錯誤的用法。請在錯誤的地方畫上 _____，並寫出正確的用法。

1. 来週、スカイツリーの前で会いましょう。あのとき、借りていた本を持っていきますね。

2. A: わあ、すごく並んでる。

B: ほんとだ。そんなに人が多いと思わなかった。

3. A: この中で一番好きなものを選んでください。
いちばん す えら

B: たくさんありますね。どちらにしましょうかね。

4. 私は小学生のとき、沖縄に行ったことがあります。あのとき、はじめて海で泳ぎました。
わたし 小 学 生 お きの な へ へ っ た こ と が ぁ り ま す 。 あ の と き 、 は じ め て 海 で 泳 ぎ ま し た 。

5. A: 日本で勉強が終わったら国へ帰って仕事がしたいです。
べんきょう お かえ し こ と

B: あれはいいですね。ご両親も喜ぶでしょうね。
りょうしん よろこ

找到例句了!

在這篇文章裡，使用著本課的學習內容(指示詞)。閱讀文章時，請試著思考其使用方式及意思。

お参りを終えた帰り道で、中学生の娘が突然、「痛い、痛い!」と叫びました。人ごみに押されて、小道に沿った溝に落ちてしまったのです。辛い大けがにはなりませんでした。私が支えて歩かなければなりませんでした。

娘は怒って「おこづかいからたくさんおさい錢をあげたのに、こんな目にあうなんてひどい! こんな神社には、二度と来ない」と言いました。私は娘に同情し、「神社は神様を利用して金もうけをしている」とつぶやきました。すると、妻は「大けがではなかったわよね? これはきっと神様のおかげですよ」と言って娘を慰めました。

それからしばらくして、ある神主と話す機会がありました。私がこの話をすると、神主はこう言いました。「人間は、物事を前向きに考えられる才能が生まれながらに備わっています。娘さんは、お母さんからそのことを学びました。そのことがわかる機会を神様が与えてくださったのです。その御利益を考えれば、おさい錢なんて安い授業料ですよ」と。

「神様がかわいそう!」より

Hir@gana Times(2011.1) pp.24-25

お参り: 参拜

突然: 突然

叫ぶ: 大叫

人ごみ: 人群

小道: 小徑

沿う: 沿著

溝: 水溝

辛い: 慶幸

支える: 支撐

おこづかい: 零用錢

おさい錢: 香火錢

同情する: 同情

金もうけ: 賺錢

つぶやく: 發牢騷

慰める: 安慰

神主: 神官

前向きに: 積極向前地

才能: 才能

備わる: 具備

御利益: 神賜予的恩惠

結束・對話

教室にあるテレビのリモコンの電池が切れてしまった。そのとき、田中さんが来たので倉庫で一緒に電池を探した。新しい電池はいつもしまもようの箱に入れておくのに、その箱に入っていなかった。倉庫にはいろいろな物があって、電池を探すのが大変だった。普段から整理しておけば、必要なときにすぐ見つかると思う。これからはきちんと整理することにした。